

# シリコンバレー訪問記

群馬大学 小林春夫

k\_haruo@el.gunma-u.ac.jp

# シリコンバレーはどこ？



# Stanford University 訪問

- 国際学会 委員会で訪問 (2014年4月12, 13日).
- 新聞王、カルフォルニア知事のリーランド・スタンフォードにより1891年に設立.
- 広大なキャンパス. スペインの教会風の建物多し. 日曜日にはカソリックのミサが行われている.



# シリコンバレーモデル

Stanford University, UC Berkeley 等の大学と  
Hewlett Packard 社等のハイテク企業との  
相互交流

➡ 継続的に技術革新を生み出してきている。

W. Hewlett氏、D. Packard氏の名がついた  
Stanford University の電気電子工学の建物



# Linear Technology 社訪問

これからの半導体設計の研究・教育のヒントを求めて  
「アナログ専門会社、優れた技術者多し  
高性能アナログICの製品，継続的に収益」  
と事前に認識



Bob Dobkin  
(CTO, Analog Guru)

Steve Pietkiewicz  
(Vice President)

# 印象に残った話

---

- (技術開発で)リスクをとれ **Take a risk.**  
保守的になるな **Do NOT be conservative.**
- 挑戦して失敗しても  
許容するマネージメントが必要.
- スケジュールをプッシュしない.  
良いものを開発することをプッシュする.
- 製品寿命が短い民生用ICから撤退.  
産業用、車載用 (息が長い製品)に注力.
- 創業当時のICを現在も製造・販売.



## 3つのルール



- 2013年 全米ベストセラーのビジネス書
  - 45年間の25,000 以上の会社を調査
  - その中で 344社が「極めて優れている」
- ➡ これらの会社に共通の3つのルールがある。

How do some companies achieve exceptional performance over the long term?

**Rule No. 1:** Better before cheaper:

They rarely compete on price.

**No. 2:** Revenue before cost:

They drive profits through price and volume, not thrift.

**No. 3:** There are no other rules.

# 「The Three Rules」を読まれた方より

---

この3つのルール（実際には2つだけ）を経営方針にしている様々な業界の中心的企業を紹介してあります。

その中の半導体部門ではリニアテクノロジー社が取り上げられています。

よくある日本のビジネス書では、売上げが大きい大企業が取り上げられがちですが、この本では、経営方針とその利益率について議論しているところが興味深い点です。